



1階 待合スペース



1階 中待・廊下

1階 外来ゾーン

外来患者様の動線とスタッフ動線を明確に区分けする為に建物の中心に諸室を配置。待合スペースから見て右側に診察部門、左側に検査部門を配置して患者様からも分かり易いレイアウトとしました。
内装は理事長より「温かみのある雰囲気」とのご要望により、木目調の素材と間接照明による演出で具現化し喜んでいただきました。

2階 リハビリゾーン

2階のリハビリスペースは、敢えて廊下とリハビリスペースを区切らず開放感のある空間としました。
また、床材にはクッション性のあるフローリングを使用し、万が一患者様がつまづいた場合でもケガをしにくいように配慮した設計としました。
広いリハビリスペースは外来用と入院患者様用に区切ることができるようし、プライバシーに配慮しました。



2階 リハビリ受付



2階 リハビリスペース

建築概要

所在地 : 愛知県名古屋市長区
規模 : 鉄骨造 5階建て
面積 : 敷地面積 1,390.75㎡
延床面積 3,950.17㎡
竣工 : 2012年 3月
担当 : 長久保・大野

この建物は1階が外来診療（内科・外科・整形外科・皮膚科・リハビリテーション科）、2階がリハビリスペース（理学療法室・作業療法室・言語療法室）、4・5階が病棟（55床）の病院です。
昭和47年に開設された旧木村病院の意志を継承しつつ、地域に根差した病院として、今回移転新築することになりました。
北側のメイン道路側には最上階までの大きなカーテンウォールとし、歩道からも内部が見えることで入りやすさにも充分配慮したデザインとしています。
また東西側にスリット窓を配置することで全体的にすっきりとした纏まりのある建物になりました。



4階 特別室



4階 食堂・談話スペース

4階 病室（4床）

4・5階 病棟ゾーン

病棟ゾーンを上階に配置し、病室からの眺望に配慮した計画としました。
病室からの眺望は理事長及びスタッフ様にも大変喜んでいただけました。
食堂・談話スペースをフロア中心に配置し病室からの利便性及び、スタッフステーションからの視認性に配慮しました。